

下水道ミニ知識

下水道の役割

川などからくみ上げられた水は、私たちの暮らしの中や、工場等で使われます。使われた汚れた水は、下水道管を通して下水処理場に送られます。下水処理場できれいに生まれ変わった水は、再び川や海に戻されます。このように下水道は、「水の循環」の中で大切な役割を持っているのです。

また、公共水域の河川、湖などでは水質がよくなるなど、自然環境面で生活しやすい都市環境となります。

下水道ができると

さわやかな水洗トイレが使えます

清潔で快適な水洗トイレを使用することができます。そのため、子どもやお年寄りでも安心してトイレを使うことができ、し尿くみ取りや悪臭に悩まされることがなくなります。

川や海の水がきれいになります

家庭から出る汚れた水は、下水管で下水処理場に集められ、きれいにしてから川や海に流されます。そのため、魚やほかの生物がすむことができる水質によみがえります。

快適で住み良い環境のまちになります

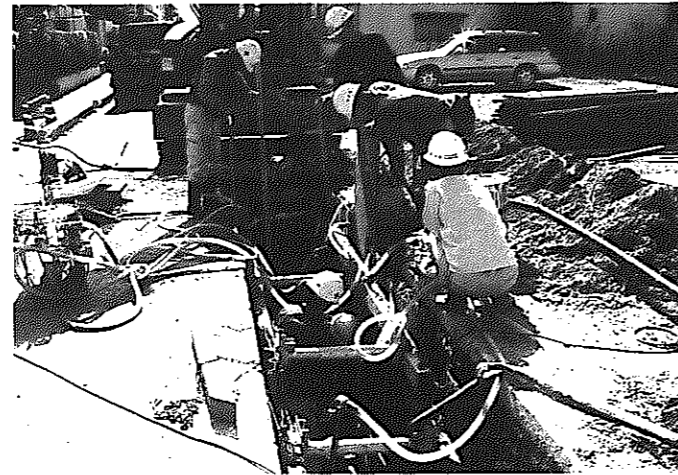
汚いドブや溝がなくなります。そのため、カヤハエの発生を防いで、疫病の心配もなくなります。そして街並みも美しく、快適な暮らしができます。

暮らしの中から出る汚れ

BOD(生物学的酸素要求量)は、水の有機汚染指標の一つ。水がどの程度汚れているかを示す基準で、数値が高くなるほど、汚れていることになります。

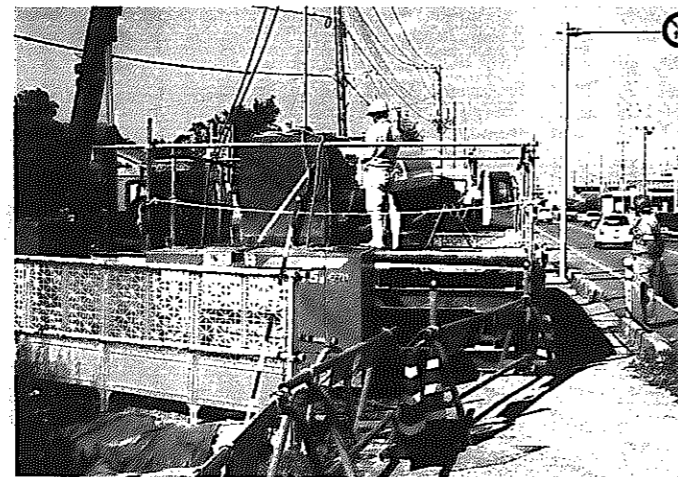
汚れのもと( )内の量を捨てたら	汚れのおおよその値 BOD(mg/l)	魚が住める水質(BOD5mg/l程度)にするために必要な水の量は風呂おけ何杯分? (風呂おけ1杯=300リットル)
日本酒(20ml)	200,000	2.7杯分
ラーメンの汁(200ml)	25,000	3.3杯分
牛乳(200ml)	78,000	10杯分
米のとぎ汁(2ℓ)	3,000	4杯分
使用済みの天ぷら油(500ml)	1,000,000	330杯分
おでんの汁(500ml)	74,000	25杯分
みそ汁(200ml)	35,000	4.7杯分
しょうゆ(15ml)	150,000	1.5杯分

枝線管渠工事



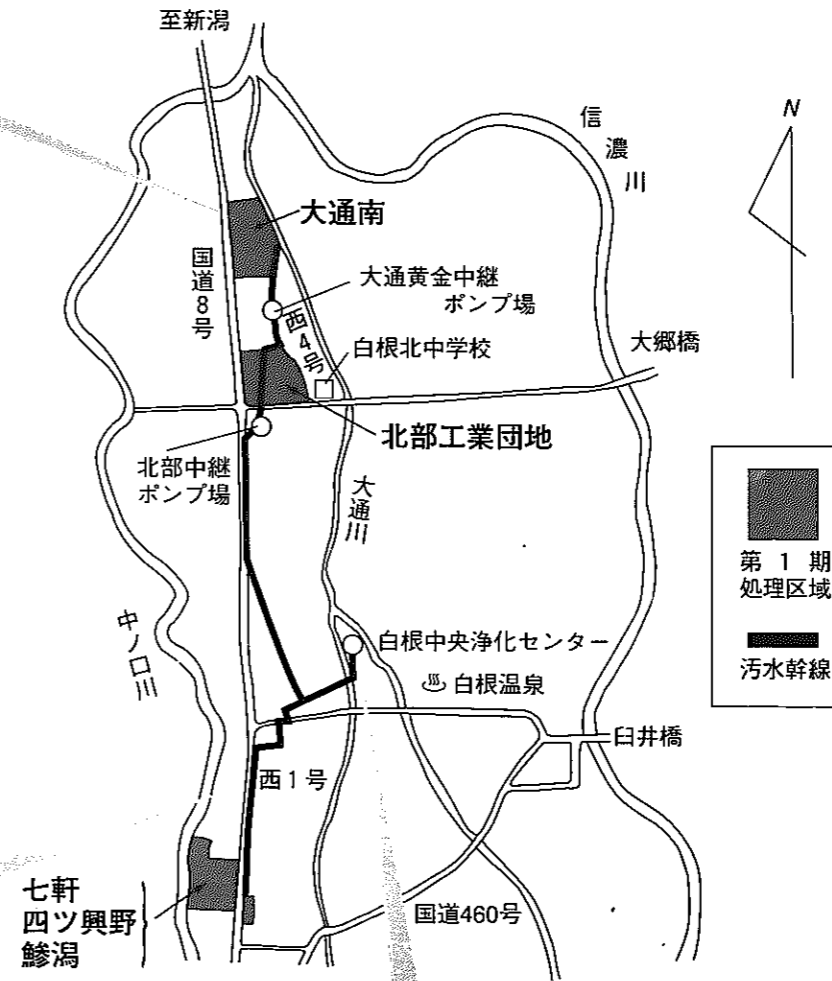
枝線管渠工事(面整備)は昨年から引き続いて大通南、北部工業団地内を中心に敷設工事を実施し、施工延長は2,952メートルとなっています。また、来年から白根地区の七軒、四ツ興野、鯉湯地内の幹線・枝線工事に入ります。

幹線管渠工事

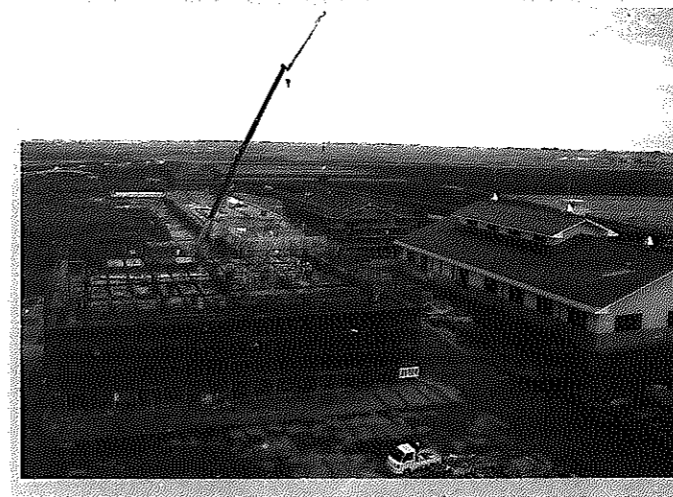


幹線管渠工事は西4号污水幹線管渠をはじめ、西1号污水幹線敷設延長が現在まで5,628メートル、平成13年度から中部排水路から国道8号沿線に、延長1,600メートル鯉湯地内の伏見蒲鉾(株)まで工事が進みます。

第1期処理区域と進ちょく状況



白根中央浄化センター工事



白根中央浄化センター工事は、土木・建設工事が平成12年度から開始され、管理棟、沈砂池・汚泥棟、管廊、塩素滅菌池の工事が8割以上進んでおり、平成13年度から15年度には機械、電気設備、汚泥処理施設工事が施工され、平成16年3月には供用開始の予定になっています。

白根市の下水道は  
現在どうなっているの？

白根市の下水道計画は市内全域を整備区域として、平成九年十二月に事業認可を受けました。現在、第一期処理区域で下水道の整備が進められており、下水処理場の白根中央浄化センター工事は八割終了しています。また、昨年からの引き続き大通南地内を中心にして行われている枝線管渠工事は、平成十四年度から白根地区の一部でも開始されます。今回の特集では、第一期処理区域の現在の進ちょく状況と、下水道が整備された地域の皆さんに掛かる受益者負担金などについてお知らせします。